**□Ｐｃａ評価判定チェックリスト（案）（１／２）**

**資料１**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 内容 | 対象の  有無 | 対象となる評価指標・評価項目 |
| 1 | 交通･道路条件 | 1)一般交通への影響はあるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 2)現況道路を利用して資機材等運搬車両の経路を確保可能か | **有・無** | ①費用比較－1詳細設計費  ①費用比較－2建設費－3仮設工費  ④施工性－2施工のしやすさ－2運搬経路の確保 |
| 3)工事用道路を造成する必要があるか | **有・無** |
| 4)資機材等運搬車両の経路内に現況交差点はあるか | **有・無** | ①費用比較－1詳細設計費（交差点詳細設計費）  ①費用比較－2建設費－3仮設工費（交差点改良費）  ①費用比較－2建設費－4交通規制費 |
| 5)現況交差点は改良する必要があるか | **有・無** |
| 2 | 基礎地盤条件 | 1)基礎地盤の改良等の処理を行う必要があるか | **有・無** | ①費用比較－1詳細設計費（基礎工詳細設計費）  ①費用比較－2建設費－2基礎工費 |
| 3 | 施工条件 | 1)工事の施工期間または時間帯に制約が生じるか（観光シーズン期の施工中止や、交通渋滞等を回避するための夜間施工等） | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間）  ④施工性－3その他－1工事工程への貢献（事業全体の通年施工のしやすさ） |
| 2)出水期や積雪・融雪期において、施工を中止あるいは休止する必要があるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 3)漁期や農業・用排水の使用時期、または地場産業の影響により、施工期間または時間帯に制約が生じるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間）  ④施工性－3その他－1工事工程への貢献（事業全体の通年施工のしやすさ） |
| 4)自然環境の保全のための制約が生じるか | **有・無** | ①費用比較－2建設費－3仮設工費(沈砂ます費)  ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 5)施工時に通行止めや断水する必要があるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間）  ⑦第3者への影響－3利用者への影響 |
| 6) 切り回しする施設はあるか、また切り回しは可能か  （道路､水路､ガス､水道､下水､通信､架空線 等） | **有・無** | ①費用比較－1詳細設計費（仮設詳細設計費）  ①費用比較－2建設費－3仮設工費（仮設道路や仮水路工費）  ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間）④施工性－3 その他－2 埋設物の施工制約  ⑦第3者への影響－3利用者への影響 |
| 7)資機材等車両の諸元は決定しているか | **有・無** | ④施工性－2施工のしやすさ－2運搬経路の確保 |
| 8)必要な施工ヤードはあるか | **有・無** | ④施工性－2施工のしやすさ－1施工ヤードの確保 |
| 9)施工時に仮設土留めする必要があるか | **有・無** | ①費用比較－1詳細設計費（仮設詳細設計費）  ①費用比較－2建設費－3仮設工費（土留工）  ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 10)当該ボックス施工による他工区工事工程への影響はあるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 11)同一施工時期で、複数箇所で類似寸法のボックス施工があるか | **有・無** | ⑦第3者への影響－4スケールメリットの有無 |
| 12)施工時の協議において、施工者の責によらない理由で、設計時若しくは発注時と施工条件が異なっていないか  ※工事着手時のチェック項目 | **有・無** | ⑥施工への影響－4施工への影響 |
| 13)通年施工することで工事工程上の問題をクリアすることができるか | **有・無** | ④施工性－3その他－1工事工程への貢献（事業全体の通年施工のしやすさ） |
| 4 | 占用物 | 1)上空・地下占用物の切り回し期間の制約はあるか | **有・無** | ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間） |
| 5 | 補修・修繕への対応  （維持管理） | 1)整備後の維持管理（点検、補修・修繕）のしやすさが求められるか | **有・無** | ③構造性－1長期的な耐久性の確保（劣化・損傷の抑制、品質の信頼性）  ⑤維持管理－補修・修繕のリスク |
| 2)計画地へのアクセス路（維持管理通路）はあるものの、補修・修繕時の敷材搬入路としての活用は困難か | **有・無** | ③構造性－1長期的な耐久性の確保（劣化・損傷の抑制、品質の信頼性）  ⑤維持管理－補修・修繕のリスク |
| 6 | ボックスの耐久性能 | 1)塩害対策をする必要があるか | **有・無** | ③構造性－1長期的な耐久性の確保（劣化・損傷の抑制、品質の信頼性） |
| 2)防水対策をする必要があるか | **有・無** | ③構造性－1長期的な耐久性の確保（劣化・損傷の抑制、品質の信頼性） |

**□Ｐｃａ評価判定チェックリスト（案）（２／２）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 内容 | 対象の有無 | 対象となる評価指標・評価項目 |
| 7 | 施工時期 | 1)冬期間に施工する必要があるか | **有・無** | ①費用比較－2建設費－3仮設工費(雪寒仮囲い)  ③構造性－2施工・品質管理の難易  ④施工性－1供用までの全体工期（施工期間）  ④施工性－3その他－1工事工程への貢献（事業全体の通年施工のしやすさ） |
| 8 | 労働  （施工）環境 | 1)施工時の安全性を確保する必要があるか | **有・無** | ⑥施工への影響－1施工時の安全性 |
| 2)施工期間中の気象条件を考慮する必要があるか  （施工期間（高温・多湿や多雨量時期、厳冬期）が施工計画検討により概ね明確な場合） | **有・無** | ②省人化・省力化－6週休二日の実現性  ⑥施工への影響－2雨天等の天候不良による工事実施の不確実度  ⑥施工への影響－3高温・多湿による工事実施の不確実度 |
| 3)熟練工の省人化・省力化を図る必要があるか | **有・無** | ②省人化・省力化－1熟練工（型枠工、支保工等）の省人化 |
| 4)設計～施工までを含む労働環境への寄与（週休2日の確保や労働力の省力化）を図る必要があるか | **有・無** | ②省人化・省力化－2労働力(労働者数)の省力化  ②省人化・省力化－3設計～施工に要する労働力の省力化  ②省人化・省力化－4設計・工事発注の効率化  ②省人化・省力化－5工事書類の削減、管理の効率化 |
| 9 | 市場性 | 1)既存型枠の活用が不可能である | **有・無** | 「無」にチェックした場合に対象  ①費用比較－2建設費－1本体と本体付属構造物  ③構造性－2施工・品質管理の難易 |
| 2)計画地を含む施工エリア内で製作が不可能である | **有・無** | 「無」にチェックした場合に対象  ⑦第3者への影響－1地域貢献度 |